

大谷小中学校だより

No.13
令和4年3月7日
珠州市立大谷小中学校

令和3年度 学校評価書(最終評価) 12月実施した各種アンケート集計結果を基に、学校評議員の皆様にご評価いただきました。

令和3年度 学校評価書(最終評価)

※1段目:最終 2段目:(中間)

珠州市立大谷小中学校

重点 目標	外部アンケート				自己評価			達成度状況の考察(○)と改善方法(●)				
	保護者アンケート	A+B	生徒アンケート	A+B	評価指標	達成度評価規準	評価					
確かな学力の向上	学校は、子どもの学力向上に努めている。	92.3 (82.5)	授業の導入で、疑問を持っている。	88.5 (100.0)	【努力指標】 児童生徒は自分の持っている知識・技能を活用して、表現し反応できる。	学習アンケート 生活アンケート 保護者アンケート ◎:90%以上 ○:75%以上 △:60%以上 ×:60%未満	○	○「自分の考えを、授業で1回は発表している。」の項目は、高く安定しており、授業で必ず発表することが定着できていると考える。 ○「課題の解決に向けて、自分の考えを進めていくことができた。」の項目は、4.3ポイント上がった。自分の考えをもたせてから発表し、友達の見解を傾聴してきた成果だと考える。 ●「授業の導入」「他者への反応」「振り返り」「課題解決における反応」の4項目において12ポイント前後低下している。1学期から取り組んできた「自分の考えを伝える」ことについては良好であるが、それに対して反応したり交流したりすることへの教師のこだわりにより、児童生徒が対話を楽しむところには至っていないのではないかと考える。「深める」場面において、対話を楽しみながら考えを深められるような授業のしかけをしていくための教材研究がさらに必要だと考える。				
			自分の考えを、授業で1回は発表している。	96.2 (96.0)								
			他者の発言について感想・意見などで反応を返している。	80.8 (92.0)								
			複数の資料を活用して、自分の考えをまとめることができている。	91.3 (96.0)								
	学校は、子どもの体力向上に努めている。	96.2 (89.2)	振り返りに初めて知ったことや書いたこと、考えを再認識したことを書けた。	84.6 (96.0)								
			話し合う活動を通じて、自分の考えが深まっている。	88.5 (96.0)								
			課題の解決に向けて、自分の考えを進めていくことができた。	92.3 (88.0)								
			課題を解決するために、反応し合うことは楽しいと感じることができている。	69.2 (80.0)								
	子どもは、家庭学習の習慣がある。(前期30分、中期60分、後期90分)	73.1 (74.2)	家で予習に取り組んでいる。	34.8 (40.0)					【努力指標】 各学年の目標家庭学習時間を達成できた。	◎:90%以上 ○:75%以上 △:60%以上 ×:60%未満	○	○「毎日、学年目標の家庭学習に取り組んでいる。」については、20ポイント以上上がった。放課後子ども教室での学習時間を含めてよいことになったことが影響しているものと考え。 ●「家で予習に取り組んでいる」の項目においては、5ポイント低下している。漢字や意味調べ、計算問題、レディネステストなどを活用して難しいことにも挑戦させていくことが必要だと考える。 ●家庭学習時間は増えたが、「毎日の課題や宿題を忘れずに提出している。」について、20ポイント近く減少している。宿題を忘れる児童生徒が固定化してきているので、昼休憩に学習時間を取るなどの指導を行っている。
			毎日、学年目標の家庭学習に取り組んでいる。	92.3 (68.0)								
毎日の課題や宿題を忘れずに提出している。			76.9 (96.0)									
子どもは、睡眠を7時間30分程度とっている。	92.3 (92.5)	早寝・早起きを心がけている。	88.5 (72.5)	【努力指標】 家庭と協力・連携して、より良い生活習慣が身につくように指導できた。	◎:90%以上 ○:75%以上 △:60%以上 ×:60%未満	○	○「早寝・早起き」の項目が16ポイント伸びた。「元氣もりもりチェック」やあいさつ運動など、学校と家庭の連携の成果だと考える。 ●ノ一画面デーへの取組が12ポイント程度下がっている。また、「保護者として、珠州市ルール(9時以降はしない)や、家庭内ルールを守らせている。」の項目で10ポイント以上低下している。「元氣もりもりチェック」の際は守っているが、その取組前後の使用時間が増えているとの保護者の声があった。そこで、メディアによる弊害などを学習する機会を設けて、自己教育力を高めることができるような働きかけを行っていく。まずは、生徒指導だよりを通して、メディアに関するアンケートによる自己の振り返りを行わせ、現状について気づかせたい。					
		子どもは、朝食を食べている。	92.3 (100.0)					きちんと朝食を食べている。	96.2 (100.0)			
保護者として、SNS・ゲーム・インターネットの家庭内のルールを作っている。	96.2 (100.0)	ノ一画面デーに取り組んでいる。	80.8 (92.5)									
保護者として、珠州市ルール(9時以降はしない)や、家庭内ルールを守らせている。	69.2 (81.7)	*	*									

重点 目標	外部アンケート				自己評価			達成度状況の考察(○)と改善方法(●)	
	保護者アンケート	A+B	生徒アンケート	A+B	評価指標	達成度評価規準	評価		
主体的に行動できる児童生徒の育成	子どもは、喜んで学校に行っている。	80.8 (86.7)	学校へ行くのが楽しい。	73.1 (73.3)	【努力指標】 部活動や児童生徒会・委員会活動や各種行事などを通して、充実した学校生活がおくれるように指導できた。	生活アンケート 保護者アンケート ◎：90%以上 ○：75%以上 △：60%以上 ×：60%未満	○	○「児童生徒会や委員会活動はやりがいがある。」の項目で20ポイント近く向上した。運動会と文化祭における主体的な活動の場を大切にされた成果と考える。子どもたちが企画・運営できるように指導することを心がけてきたことが数値として表れていると考える。 その様子から保護者の「学校は、子どもが協力して課題を解決する場を大切にしている。」は100%になった。子どもが、学校の様子を家庭で話し、保護者が見てくださっているからだと考えられる。 ●「部活動で自分を鍛えられている。」の項目が、25ポイント下がった。人間関係づくりにおいて、困難さを乗り越えつつある。6年生が体験で毎週木曜日に参加しており、部活動指導員と連携し、先輩としての自覚をもって臨めるように指導していく。	
		60.0 (85.0)	部活動で自分は鍛えられている。	60.0 (85.0)					
		95.0 (76.3)	児童生徒会や委員会活動はやりがいがある。	95.0 (76.3)					
	学校は、子どもが協力して課題を解決する場を大切にしている。	100.0 (89.2)	難しいことにも、失敗を恐れなくて挑戦している。	73.1 (80.8)					
	子どもは、自分から家族や地域の人に挨拶ができる。	80.8 (77.5)	地域の人たちにきちんとあいさつができています。	100.0 (100.0)	【努力指標】 挨拶やマナーなど、その場に応じた言動ができるよう日常的に指導を進めることができた。	生活アンケート 保護者アンケート ◎：90%以上 ○：75%以上 △：60%以上 ×：60%未満	○		○あいさつに関しては、100%児童生徒が肯定的な回答をしており、保護者の回答も上昇している。 ●「子どもは、決まりを守って生活している。(服装や自転車の乗り方)」において、12ポイント下がっている。家庭で何が守られていないのかを把握する必要がある。
	子どもは、家の手伝いをしている。	50.0 (54.2)	*	*					
	子どもは、決まりを守って生活している。(服装や自転車の乗り方)	73.1 (85.0)	将来に対する夢や希望を持っている。	73.1 (68.3)	【努力目標】 将来の夢を実現するために、キャリア教育を推進できた。		△		
	学校は、生徒理解に務め、適切に対応している。	92.3 (93.3)	自分にはよいところがある。	65.4 (60.0)	【努力指標】 教育相談活動を充実させるなど、児童生徒の悩みや相談事を親身に受け止め、共感的な人間関係づくりと自己有用感が高まるように生徒指導に努めることができた。	生活アンケート 保護者アンケート ◎：90%以上 ○：75%以上 △：60%以上 ×：60%未満	○		○「先生方は、いじめやトラブルに対し、すぐに対応してくれる。」において、7ポイント向上した。報告・連絡・相談を心がけ、迅速に対応した成果だと考える。 ●「先生や友達に褒められたり認められたりすることがある。」10ポイント減少している。宿題忘れなどの注意を受けて否定的な回答となっているものと考えられる。注意は的確に短く、できた時にはその行動に対して認める言葉かけを行う。
			自分を褒めたり、叱ったりできる。	73.1 (75.8)					
			先生方は、いじめやトラブルに対し、すぐに対応してくれる。	96.2 (89.2)					
思いやりの心を持って、級友などの接している。			80.8 (88.3)						
自分のまわりには、いじめや仲間はずれはない。			100.0 (85.8)						
先生や友達に褒められたり認められたりすることがある。			82.6 (92.5)						
保護者として、良いことについては褒めることを大切にしている。	100.0 (100.0)	*	*	【努力目標】 子どもの成長に気づき、褒めることができた。	保護者アンケート ◎：90%以上 ○：75%以上 △：60%以上 ×：60%未満	◎			
保護者として、悪いことについては、叱ることを大切にしている。	100.0 (100.0)	*	*						

重点 目標	外部アンケート				自己評価			達成度状況の考察(○)と改善方法(●)		
	保護者アンケート	A+B	生徒アンケート	A+B	評価指標	達成度評価規準	評価			
保護者・地域との絆	学校は、児童・生徒のことで相談しやすい雰囲気である。	96.2 (96.7)	いろいろな悩みについて、先生は相談にのってくれる。	88.5 (90.0)	【努力指標】 学校だよりや各種お便り等を充実させ、学校から積極的に情報発信することができた。 保護者アンケート 児童アンケート 生徒アンケート ◎：90%以上 ○：75%以上 △：60%以上 ×：60%未満	◎	●「学校は、通信等で方針や児童・生徒の様子をわかりやすく知らせている。」においては、12ポイント下がった。後期課程における通信の発行が少なかったことが影響している。学年団で進路情報等を学年だよりで、子どもたちの様子を伝えられるように心がける。			
	学校は、通信等で方針や児童・生徒の様子をわかりやすく知らせている。	84.6 (96.7)	*	88.5 (89.2)						
	保護者として、学校からの通信に目を通している。	88.5 (100.0)	学校だよりなど、学校からのおしらせを必ず家に人に見せている。	92.3 (95.8)						
	学校は、ふるさとを大切にする学習に積極的に取り組んでいる	96.2 (89.2)	地域の行事やボランティア活動に参加している。	84.6 (92.5)				【努力指標】 児童生徒に対し、ふるさとや地域に目を向けさせ郷土愛を深めることができた。	◎	○「地域に笑顔と元気を届けることができる。」で12ポイント上がった。道徳教育において、ふるさとと自分との関わりを考えてきた成果だと考える。 ●「地域の行事やボランティア活動に参加している。」において、8ポイント下がっている。コロナ禍で活動が制限される中での地域との関わり方を考えていく必要がある。
	学校は、笑顔と元気を届けることができる。	84.6 (72.5)		84.6 (72.5)						
学校は、授業参観や行事等で保護者が参加しやすいようにしている	100.0 (92.5)	*	*	【努力指標】 保護者が学校の行事に参加しやすいように工夫することができた。	◎					
自己評価										
	教職員アンケート	A+B			評価指標	達成度評価規準	評価	達成度状況の考察(○)と改善方法(●)		
働き方改革	時間を意識し、見通しをもって仕事ができている	83.3 (75.0)	*	*	【努力指標】 担当業務を効率的に行うための改善に取り組むことができた。 教職員アンケート ◎：90%以上 ○：75%以上 △：60%以上 ×：60%未満	◎	○「時間を意識し、見通しをもって仕事ができている。」において、8ポイント上昇している。職員同士で見通しをもつことについて話し合い、実践を心がけている成果だと考える。			
	20時までに退校できている	100.0 (91.0)	*	*						

評価委員のみなさまからのご意見

【質疑応答】

意見：反応させることに「こだわった」ため数値が低くなったとあるが、「こだわり」はいいことではないか。

意見：保護者と生徒で学習時間についての認識のずれがある。

質問：宿題を毎日取り組めない生徒の理由は？

回答：難しさや学力面、向かう気が起きないなどだ。

質問：宿題を忘れる子、毎日取り組めない子への対応は？

回答：宿題を毎日出せるような手立てをし、その子に合ったやり方を全職員でサポートする。

質問：生徒が「昼休憩がない」と言っているが、なぜか？

回答：教室から職員室までの移動の距離や、委員会や児童生徒会の仕事がかぶることで一人一人の負担が大きくなる。

質問：昼休みに、生徒は勉強のわからないところを聞きに来るか？

回答：聞きに来る生徒は少ない。

意見：「家で予習に取り組んでいる」は、みんなに当てはまらない項目ではないか。

意見：「自分にはよいところがある」は、大谷の子の特性で評価しにくいのでは。

質問：「部活動で自分を鍛えられている」が下がったのは、9年生がいなくなったから？

回答：コロナで不規則になった面もある。

【ご意見】

●大廣評議員

全体として非常に良いと感じている。一人二人が否定的だが、取り残していかないようにしてほしい。

●南評議員

挨拶がいい。以前はそうではなかった。引き続き指導をお願いしたい。

●桜ヶ平評議員

前期課程の子ども教室では、本人が嫌がっているのにちょっかいをかけているところが見られる。いじめにつながらないか心配だ。

●水上PTA会長

アンケートの誤差に一喜一憂せず、一人一人の生徒に対応すること。

●川端PTA副会長

客観的には下がっているかもしれないが、学校はよくやっているなど感じている。

●番匠母親代表

いじめが「ない」のか？気遣って100%になっているのではないか。親は子供に甘いところがある。子供とちゃんと向き合わなければならない。

たくさんの前向きなご意見をありがとうございました。

保護者、地域の方々にとって大切な学校でありたくさん支えて頂いていることに改めて感謝した次第です。保護者、地域の方々と学校とが目指すべきことを共に考える良い機会となるものと確信しています。

